

IWA総会にみるグローバル 水企業の動きと中国市場

グローバルウォーター・ジャパン 吉村 和就

世界水協会(IWA)の第5回総会が9月10日から14日まで北京で開催され、過去最高の総勢3000名の参加、海外から2000名以上の参加があり、最終日には中国政府主催の人民大会堂での晩餐会で盛大に締めくくられた。成功裏に終わったIWA北京総会、その背景とこの機会をフルに活用して事業拡大を目指すグローバル水企業の動きを、5日間の現地取材をもとに述べてみたい。

中国政府は、「オリンピックまでに中国の威信を全世界にアピールする為にあらゆる国際会議や展示会を誘致する」という国家方針をもとに、今回のIWA総会を最高の機会と捉え、2003年から国家建設部、国家水利部、環境保護委員会、財政部、公安部、北京市人民政府等と合同で実行委員会を作り、IWA本部(ロンドン)やスポンサー



北京で開かれたIWAの第5回総会



O&M契約を強化するスエズ

目立つヴェオリアの活動 スエズも積極的に営業展開

①

企業と接触を重ねて来た。その結果、世界90カ国から参加があり、6500件以上の技術・研究発表、140件のポスターセッション、展示は2500社に上った。これについて中国建設報(新聞)は「我が国政府十分重視本大会、全球的成功挙行」と述べている。さて展示会でのグローバル企業のブースを覗いてみたい。まずはヴェオリア社。1、ヴェオリア社は、最も大きなブースを構え受付嬢も2カ所に配置している。

中国国内では既に、天津、成都、上海・浦東、仁川I・II期などの上下水道事業で約9千億円近い受注残があり、中国市場での自信が窺える。事実、ヴェオリア・ウォーター社のCEO、アントワーヌ・フレロ氏は9月10日北京で記者会見し「ヴェオリアは将来の水事業の重心は中国に置く」と宣言し、「中国政府の水事業の開放政策に伴い、積極的に投資をする方針」を明らかにしている。

また今年に入り2件の新規受注を発表、一つは柳州市の給水人口100万人のO&Mプロジェクト(30年契約)、もう一つは中国石化傘下の北京燕山石化の25年O&M契約である。この二つを加え、現在ヴェオリア・ウォーターは中国国内で合計19のプロジェクトを獲得したことになる、7000人を雇用、また2005年の中国への投資総額は4.7億ユーロ(約660億円)に達している。さらにフレロ氏は、中国市場で今後2桁台の成長を確保すると述べている。この展示会にはヴェオリア・ウォーター社のアジア・パシフィック地区上級幹部が勢揃いし、ヴェオリア・ウォーター・ジャパンのローラン・オーギュスト社長も姿を見受けられた。2、スエズのパリ本社では、イタリアのエネル社の買収攻勢を防ぐために、政府主導によるフランスガス公社との合併問題で揺れているが、中国市場ではグループ会社のオンデオやデグ

1970年以降、スエズグループの中国市場での長期O&M契約は20プロジェクトを超えている。さらに香港の新世界グループとの

合弁会社シーメンチを
活用し、中国の北東部の上
下水道事業、また工業団地
の排水処理のO&M契約獲
得を強化している。

3、シーメンチはもとも
と中国に於ける交通システ
ムや通信、送電システムに
強く、水処理に力を入れだ
したのは最近である。20
05年夏に、ヴェオリア社
から買収した米国のUFフ
ィルターの技術をもとに中
国市場に参入する宣言をし
たが、大きな進展がなかっ
た。2006年9月IWA
総会の前に北京のCNCCウ
ォーターテクノロジー社の
買収を発表した。このCN
C社は中国国内で、大型の
水処理や海水淡水化に実績
を持つ中堅の会社(社員1
20人)である。シーメン

スの水処理部門のCEO、
ロジャー・ラドック氏は
「15%の成長を遂げる中国
市場はシーメンチにとり、
発展するプラットフォームと
位置づけ、当面の目標は2
008年のオリンピックと
2010年上海万博に置
き、更なるM&A戦略でシ
ステムとサービスを展開し
たい」と述べている。



シーメンチは最近水処理に力を入れだした



最も大きなヴェオリアのブース